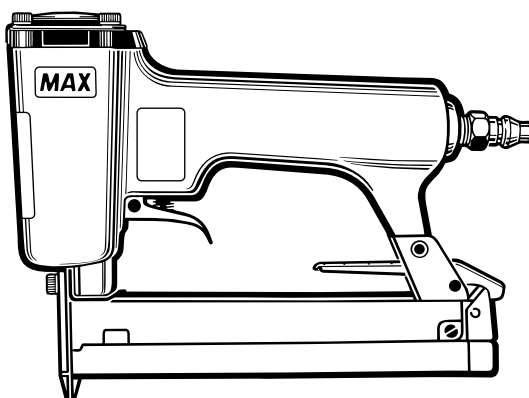
マックス釘打機 エアネイラ

TA-33シリーズ

取扱説明書

ご愛用実績No.1
釘打機はマックス

TA-33/422J　TA-33/1022J
TA-33/F25MO

⚠ 警告

本機は、トリガを引くだけでステープル、ネイルが発射される機構になっております。下記の警告事項を厳守してください。

- ●使用前に必ず取扱説明書を読む。
- ●使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- ●打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。
- ●射出口を絶対に人体に向けない。
- ●移動する時、使用しない時、調整・修理・ステープル、ネイル装填の時は必ずエアホースをはずす。
- ●エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- ●揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- ●異常を感じたら絶対に使用しない。

●この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックス釘打機エアネイラをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

●この商品はホビー用に開発されたものです。釘打ち作業を職業とされる方は、TA-225、TA-35シリーズをお買い求めください。

■表示について

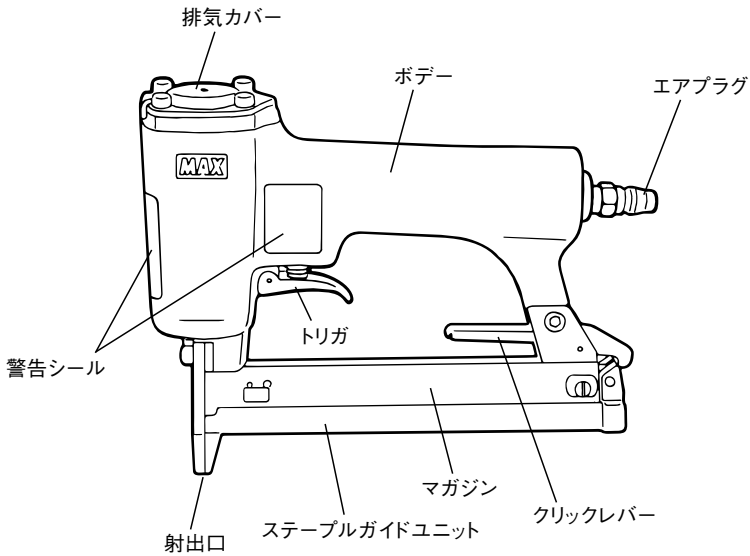
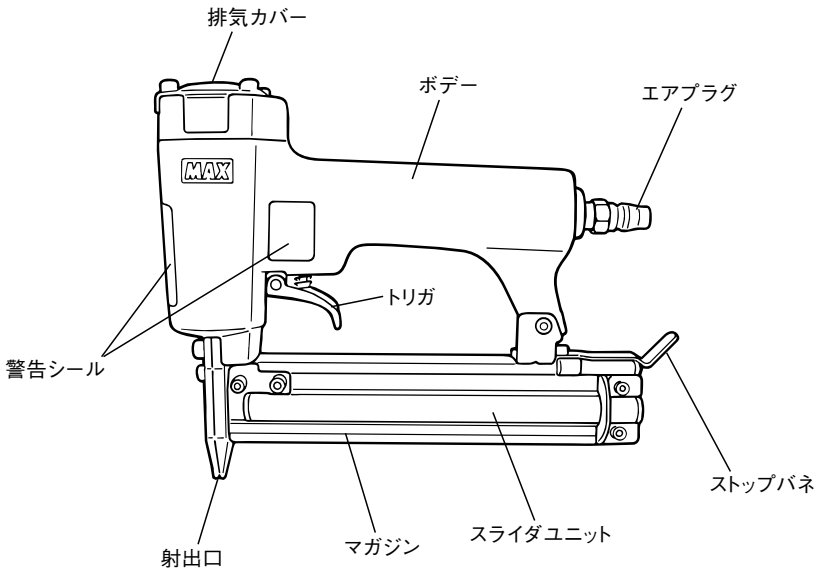
⚠ 警告	この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠ 注意	この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、釘打機本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

■絵表示について

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

目　次

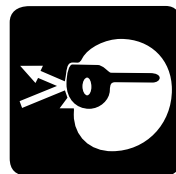
1 各部の名称

TA-33/422J　TA-33/1022J

TA-33/F25M0

安全作業のために

本機は、射出口が薄く小さいことが要求される用途向けとして造られており、トリガを引くだけでステープル、ネイルが発射される機構になっております。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

⚠ 警告

❶使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
ステープル打ち、釘打作業をする時、打ち損じのステープル、ネイルがはね返り、眼に入ると失明する恐れがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。
※保護メガネは別売品で販売しております。お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱までお申しつけください。

❶
❷防音保護具を着用する。
ステープル打ち、釘打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

❷
❸作業環境に応じた防具を着用する。
作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

❸

安全作業のために

⚠警告

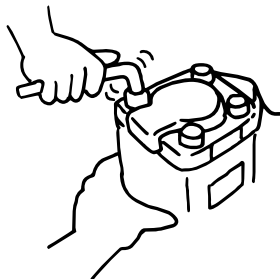
❹エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1.ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。

2.各部部品が外れていたり、傷んでいないか。

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱へ点検・修理に出してください。

❹

❺エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

❺

❻エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないよう下記のことを必ず守ってください。

1.トリガに指をかけない。

2.射出口を人体に向けない。

❻

安全作業のために

⚠ 警告

❼エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはステープル、ネイルを装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

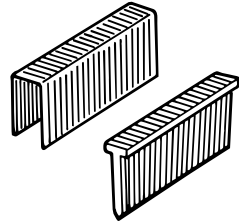
1.エアホースを接続しただけで作動音がしないか。

2.エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がする場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

❽指定ステープル、ネイルを必ず使用する。

指定されたステープル、ネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のステープル、ネイルをご使用ください。

（10ページ参照）

❾作業場所を常に整理する。

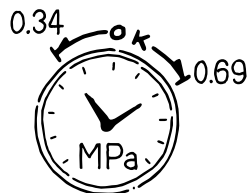
作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

安全作業のために

作業中

⚠ 警 告

❶使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は0.34～0.69MPa（3.5～7kgf/cm^2）です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。0.69MPa（7kgf/cm^2）を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

❷打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

本機は、トリガを引くだけでステープル、ネイルが発射されます。ステープル、ネイルを打つ時以外はトリガに指をかけないでください。誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。ステープル、ネイルを打つ時以外は射出口を確実に対象物に当ててからトリガを引いてください。

❸射出口を絶対に人体に向けない。

射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたステープル、ネイルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。

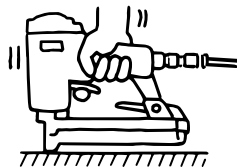
❹向い合わせのステープル打ち、釘打ちは絶対にしない。

向い合ってステープル打ち、釘打作業をすると、打ち損じたステープル、ネイルが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせのステープル打ち、釘打ちは絶対にしないでください。

安全作業のために

⚠ 警告

❺射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったステープル、ネイルや木の節などに当たった場合ステープル、ネイルがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。

❺
❻揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとステープル、ネイル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。

❻
❼移動する際は、必ずエアホースをはずす。

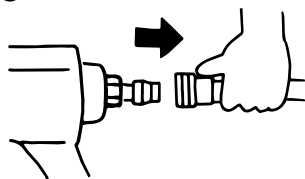
エアホースを接続した状態でトリガに指をかけたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。移動する際は、必ずエアホースをはずしてください。

❼
❽作業中断時は必ずエアホースをはずす。

作業中のステープル、ネイル装填、調整及びステープル、ネイルづまりを直すときは誤ってステープル、ネイルを発射すると危険ですから、必ずエアホースをはずしてください。

❽

安全作業のために

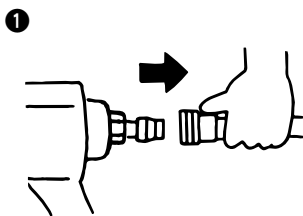
⚠ 警 告

❾異常を感じたら絶対に使用しない。

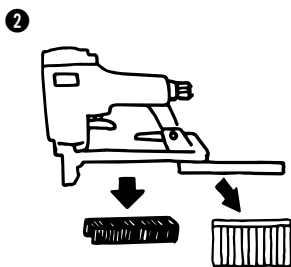
作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

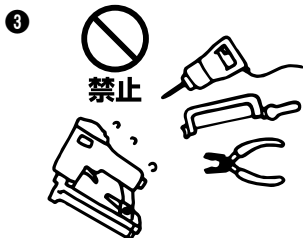
作業後

⚠ 警 告

❶作業終了時には必ずエアホースをはずす。

作業終了時には、必ずエアホースをはずしてください。

❷作業終了時には必ずステープル、ネイルを抜き取る。

ステープル、ネイルをマガジン内に残しておくと、次に使用するときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながることがあります。作業終了時には必ずマガジン内のステープル、ネイルを抜きとってください。

❸本機を絶対に改造しない。

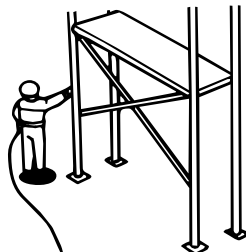
本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

安全作業のために

屋外作業について

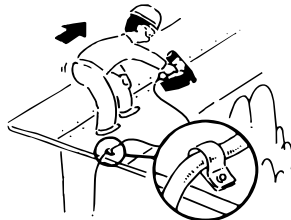
⚠ 警告

❶足場の安全性を充分に確認する。

足場を使っての高所作業の場合、釘打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

❶

❷エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれのないように注意してください。

❷

❸直射日光をさける。

本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

❸

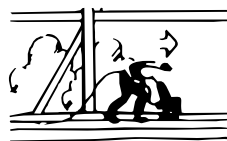
打ち方

❹水平面のステープル打ち、釘打ち

前進姿勢でステープル打ち、釘打作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。

❹〔水平面〕

安全作業のために

⚠警告

❺垂直面のステープル打ち、釘打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へステープル打ち、釘打作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。

※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。

❺〔垂直面〕

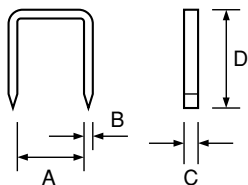
❻傾斜面のステープル打ち、釘打ち

下から上に向かって前進姿勢でステープル打ち、釘打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。

❻〔傾斜面〕

仕様及び付属品

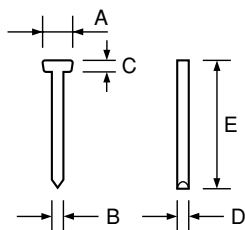
商　品　名	マックス釘打機エアネイラ		
商品記号	TA-33/422J	TA-33/1022J	TA-33/F25M0
バルブ機構	ヘッドバルブ方式		
ステープル、ネイル送り機構	プッシャバネ送り方式		
マガジン形式	アンダーローディング方式		サイドローディング方式
寸　法	(H) 165 × (W) 52 × (L) 230 mm		(H) 192 × (W) 52 × (L) 255 mm
質　量	1.2kg		
ネイル装填数	100本（1連）		
使用空気圧範囲	0.34～0.69MPa （3.5～7kgf/cm²）		
使用ホース内径	内径6mm以上		
使用オイル	タービン油1種ISO VG32 （JIS1号90番）		
付　属　品	六角棒スパナ4、六角棒スパナ3（F25M0のみ）、ジェットオイラ（油入）		
使用ステープル 使用ネイル	410J 410J-AL 413J 413J-S 416J 416Jシロ 416J-S 419J 419Jシロ 419J-S 422J 422Jシロ 422J-S	1010J 1010J-AL 1010J-H 1010J-S 1013J 1013J-S 1016J 1019J 1019Jシロ 1019J-S 1022J 1022Jシロ 1022J-S	F10M0 F10M0-S F15M0 F15M0-S F20M0 F20M0-S F25M0 F25M0-S

〈ステープルサイズ〉

（単位：mm）

ステープル	A	B	C	D	先端形状
410J	4	0.6	1.2	10	
410J-AL	4	0.6	1.2	10	
413J	4	0.6	1.2	13	
413J-S	4	0.6	1.2	13	
416J	4	0.6	1.2	16	
416Jシロ	4	0.6	1.2	16	
416J-S	4	0.6	1.2	16	
419J	4	0.6	1.2	19	チゼルポイント
419Jシロ	4	0.6	1.2	19	
419J-S	4	0.6	1.2	19	
422J	4	0.6	1.2	22	
422Jシロ	4	0.6	1.2	22	
422J-S	4	0.6	1.2	22	

（単位：mm）

ステープル	A	B	C	D	先端形状
1010J	10	0.6	1.2	10	
1010J-AL	10	0.6	1.2	10	
1010J-H	10	0.6	1.2	10	
1010J-S	10	0.6	1.2	10	
1013J	10	0.6	1.2	13	
1013J-S	10	0.6	1.2	13	
1016J	10	0.6	1.2	16	
1019J	10	0.6	1.2	19	チゼルポイント
1019Jシロ	10	0.6	1.2	19	
1019J-S	10	0.6	1.2	19	
1022J	10	0.6	1.2	22	
1022Jシロ	10	0.6	1.2	22	
1022J-S	10	0.6	1.2	22	

〈ネイルサイズ〉

（単位：mm）

ネイル	A	B	C	D	E	先端形状
F25M0	2	1.05	0.9	1.26	25	
F20M0	2	1.05	0.9	1.26	20	
F15M0	2	1.05	0.9	1.26	15	チゼルポイント
F10M0	2	1.05	0.9	1.26	10	

使用方法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

【ステープル、ネイルの装填方法】

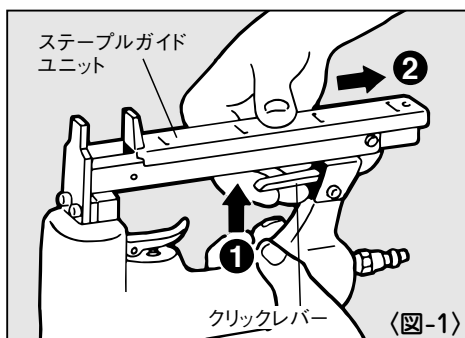
⚠警告

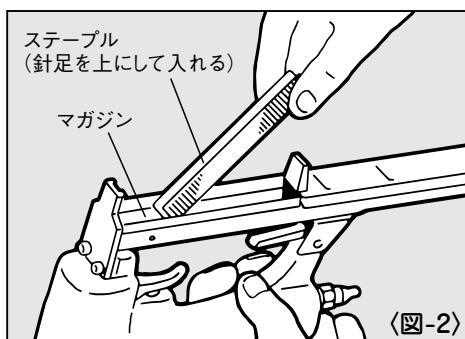
●ステープル、ネイルを装填するときは、エアホースをはずす。

TA-33/422J・TA-33/1022Jの場合

手順

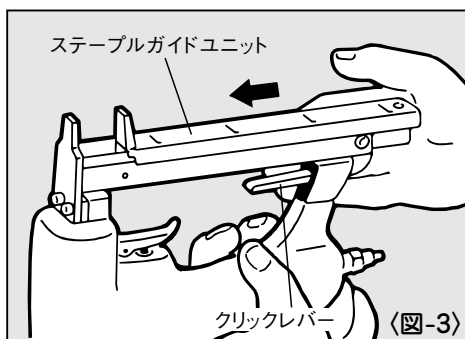
❶クリックレバーをはずします。
❷ステープルガイドユニットを引き出します。〈図-1〉

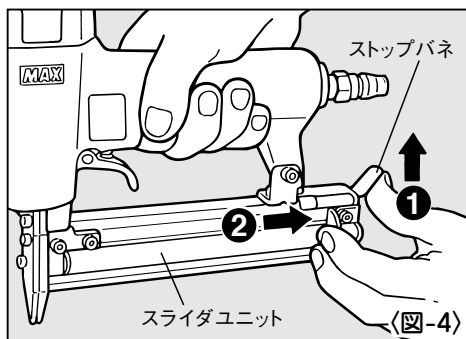
〈図-1〉

❸ステープルの足を上にしてマガジン内に入れます。〈図-2〉

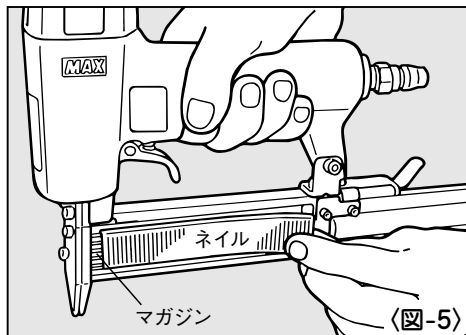
〈図-2〉

❹ステープルガイドユニットを押し、クリックレバーを確実にセットします。〈図-3〉

〈図-3〉

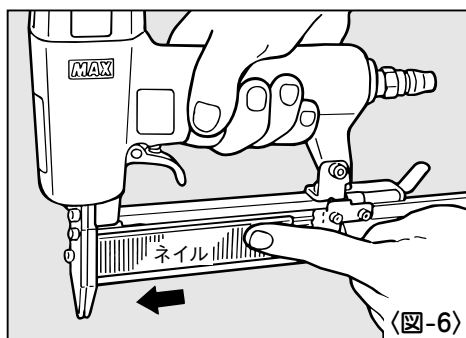
TA-33/F25M0の場合

手順

❶ストップバネを持ち上げながら、スライダユニット後部の突起に指にかけて、止まるまで静かに引き出します。〈図-4〉

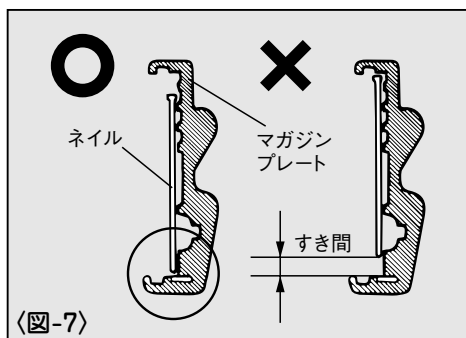
〈図-4〉

❷マガジン内にネイルを入れます。この時、ネイルの足先をマガジン下部に合わせるように装填してください。〈図-5〉

〈図-5〉

❸マガジン内のネイルを指で射出口内へ送り込みます。〈図-6〉

❹ネイルを確実にセットして、スライダユニットを閉じます。

〈図-6〉

⚠ 注 意

●本機は10～25mmまでのフィニッシュネイルが使用できますが、ネイルの装填につきましては〈図-7〉の状態になる様ご注意ください。
フィニッシュネイルの足先端部をマガジンプレートへ密着させた状態でスライダユニットをセットします。すき間があるままスライダユニットをセットしますと、ネイルづまりや、本機の故障の原因になります。尚、本機に1度に装填できるサイズ（足長さ）は一種類です。

〈図-7〉

【打ち方】

⚠ 警 告

●打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。
本機は、トリガを引くだけでステープル、ネイルが発射されます。ステープル、ネイルを打ち込む時以外はトリガに指をかけないでください。誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。ステープル、ネイルを打ち込む時は射出口を確実に対象物に当ててからトリガを引いてください。

●射出口を絶対に人体に向けない。
射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたステープル、ネイルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。

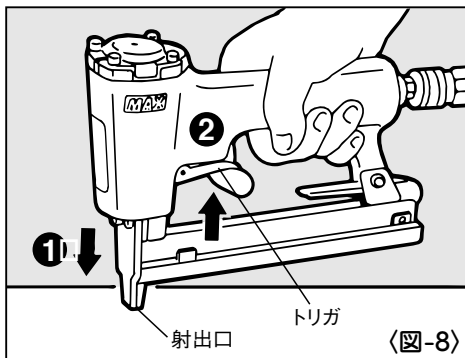
TA-33/422J・TA-33/1022Jの場合

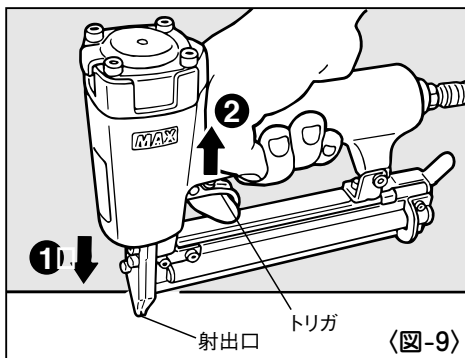
手順

❶ステープルを打とうとする場所に射出口を当てます。
❷トリガを引きます。 〈図-8〉

〈図-8〉

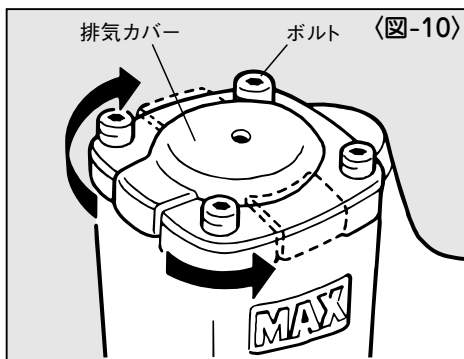
TA-33/F25M0の場合

手順

❶ネイルを打とうとする場所に射出口を当てます。
❷トリガを引きます。 〈図-9〉

〈図-9〉

【排気穴の変え方】

⚠ 警 告

●排気穴を変えるときは、必ずエアホースをはずす。

排気穴の方向は作業状況にあわせて、「前」「左」「右」に変えることができます。変更方法は、排気カバーの上についているボルトを六角棒スパナ4ではずし、排気カバーの位置を変えます。〈図-10〉

配管についての注意

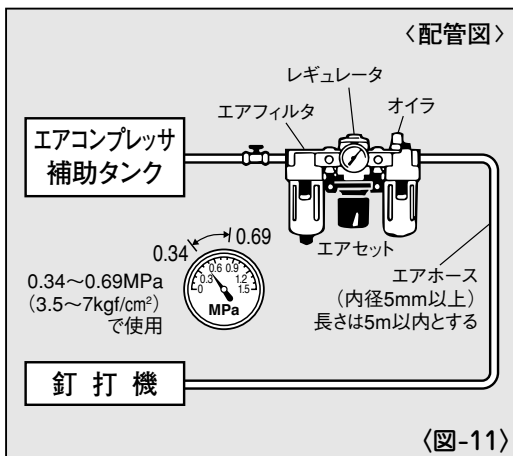
⚠ 警告

●エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

❶動力源は必ずエアコンプレッサをお使いください。高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）は絶対に使わないでください。

❷エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。

❸エアホースは内径6mm以上、長さ30ｍ以内で使用してください。エアセット使用時は、 エアセットから釘打機までのエアホースを内径5mm以上、長さ5ｍ以内で使用してください。 〈図-11〉

〈図-11〉

6 エアホースの接続

⚠ 警告

●エアホース接続の時は必ず厳守する。

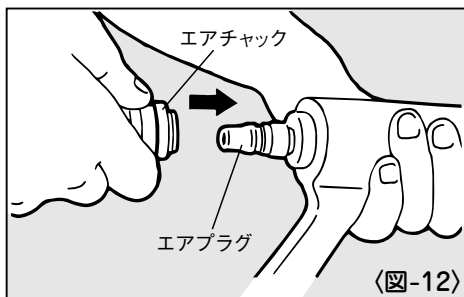
エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

1.トリガに指をかけない。

2.射出口を人体に向けない。

手順

❶エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。 〈図-12〉

〈図-12〉

⚠ 警告

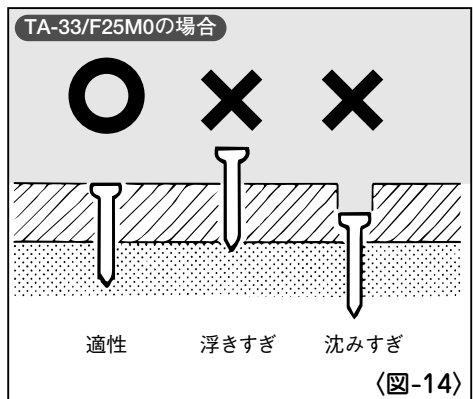
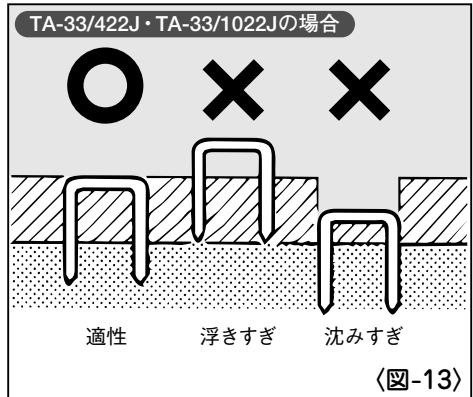
●作業中断時は必ずエアホースをはずす。

7 使用空気圧と打込状態の確認

本機を使用する場合、打込対象部材の硬さにより使用空気圧を設定しますが、通常は0.59MPa（6kgf/cm²）に圧力をセットします。作業中ステープル頭、ネイル頭が浮いたり、沈みすぎたりした場合は、エアセットのレギュレータでステープル頭、ネイル頭が打込対象部材に対し面一になるように圧力調整してください。〈図-13〉〈図-14〉

打込対象部材の硬軟、使用するステープル、ネイルの長短で多少圧力がちがいますので作業前にテスト打ちを行なって圧力調整をしてください。

〈図-13〉

〈図-14〉

⚠ 警告

● **0.69MPa（7kgf/cm²）を超えた圧力では絶対に使用しない。**

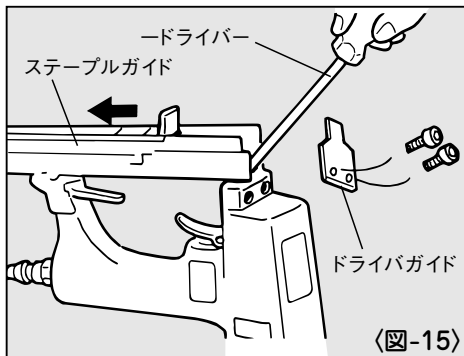
ステープル、ネイルづまりの直し方

⚠警告

●ステープル、ネイルづまりを直す時は、必ずエアホースをはずす。

TA-33/422J・TA-33/1022Jの場合

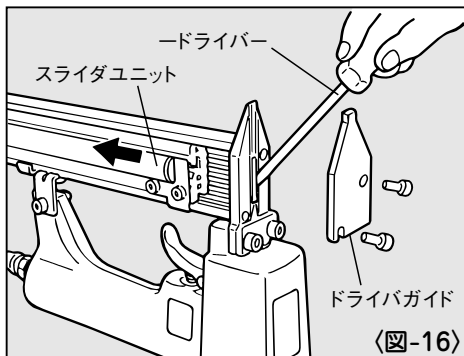
手順

❶エアホースをはずします。
❷ステープルをマガジン内より抜き取ります。
❸マガジン部の六角穴付ボルト2本をはずし、ドライバガイドを取りはずします。
❹ノーズ内部につまったステープルを細い鉄棒や－ドライバーで取り除きます。
〈図-15〉
❺ドライバガイドをセットしてステープルを入れ、ステープルガイドを戻します。

〈図-15〉

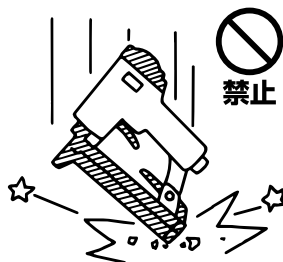
TA-33/F25M0の場合

手順

❶エアホースをはずします。
❷ネイルをマガジン内より抜き取ります。
❸マガジン部の六角穴付ボルト2本をはずし、ドライバガイドを取りはずします。
❹ノーズ内部につまったネイルを細い鉄棒や－ドライバーで取り除きます。
〈図-16〉
❺ドライバガイドをセットしてネイルを入れ、スライダユニットを戻します。

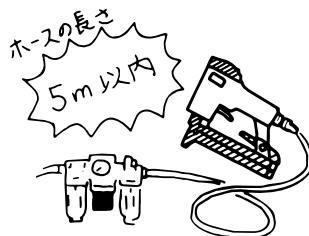
〈図-16〉

9 性能を維持するために

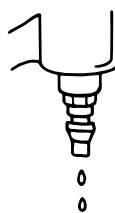
❶本機を大切に使う

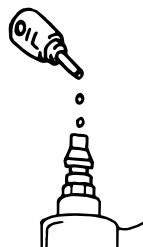
落したり、ぶつけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつけたり、叩いたりしないでください。

❷カラ打ちをしない

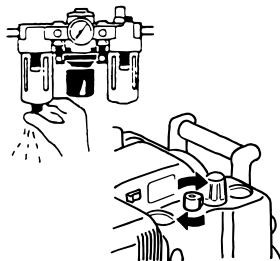
ステープル、ネイルを装填しないでカラ打ちをくり返し行うと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。

❸エアセットを使用する

エアセットを使わないとエアコンプレッサ内の水分やゴミが本機内に入り、錆や摩耗が発生して作動不良の原因になります。なお、エアセットから本機までのエアホースは長すぎると圧力低下となりますので5m以内にしてください。

❹本機の水抜きをする

作業終了時エアプラグを下に向け十分水抜きしてください。

❺指定オイルを注油する

オイルはタービン油1種ISO VG32（JIS1号90番）を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より2〜3滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。

❻エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。

❼定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にお申しつけください。

10 アフターサービス、補修用性能部品について

【アフターサービスについて】

●本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にご相談ください。

【補修用性能部品の最低保有期間】

●本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

●補修用性能部品とは、本機の性能を維持するために必要な部品です。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町６－６	TEL(03)3669-8121㈹
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東６－12－８	TEL(011)261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東２－１－29	TEL(022)236-4121㈹
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町６－６	TEL(03)3669-8118㈹
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川１－11－23	TEL(052)935-8531㈹
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川１－３－18	TEL(06)6444-2031㈹
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音７－11－24	TEL(082)291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田１－５－１	TEL(092)411-5416㈹
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭２－10－３	TEL(019)621-3541㈹
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市簗瀬町２３１３	TEL(028)636-3012㈹
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297－12	TEL(04)7132-1500㈹
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町５－17－19	TEL(042)528-3051㈹
浜松営業所	〒433-8117	浜松市高丘東２－22－15	TEL(053)439-3300㈹
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町３－24	TEL(099)269-5347㈹
新潟マックス㈱	〒955-0081	三条市東裏館２－14－28	TEL(0256)34-2112㈹
水戸マックス㈱	〒310-0043	水戸市松ヶ丘２－３－27	TEL(029)255-3761㈹
群馬マックス㈱	〒371-0844	前橋市古市町２３３－５	TEL(027)210-7755㈹
埼玉マックス㈱	〒331-0823	さいたま市北区日進町３－４２１	TEL(048)651-5341㈹
千葉マックス㈱	〒284-0001	四街道市大日１８７０－１	TEL(043)422-7400㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘７－６	TEL(045)364-5661㈹
長野マックス㈱	〒399-0033	松本市笹賀８１５５	TEL(0263)26-4377㈹
長野営業所	〒381-2247	長野市青木島１－35－１	TEL(026)285-6740㈹
静岡マックス㈱	〒422-8036	静岡市敷地１－３－２６	TEL(054)237-6116㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸２－15	TEL(076)240-1871㈹
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割１０－８	TEL(076)452-0182㈹
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東２－１７１１	TEL(0776)27-3378㈹
京滋マックス㈱	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町９	TEL(075)645-5061㈹
兵庫マックス㈱	〒652-0832	神戸市兵庫区鍛冶屋町2-1-2	TEL(078)652-7370㈹
三木営業所	〒673-0404	三木市大村１０９－１	TEL(0794)83-2121㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田３－23－28	TEL(086)246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町７６１－３	TEL(087)866-5599㈹
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広１－４－25	TEL(088)623-0286㈹
松山営業所	〒790-0951	松山市天山２－１－35	TEL(089)913-0608㈹
マックスサービス㈱札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東６－12－８	TEL(011)231-6487㈹
マックスサービス㈱仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東２－１－29	TEL(022)237-0778㈹
マックスサービス㈱高崎	〒370-0031	高崎市上大類町４１２	TEL(027)350-7820㈹
マックスサービス㈱埼玉	〒331-0823	さいたま市北区日進町３－４２１	TEL(048)667-6448㈹
マックスサービス㈱名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川１－11－23	TEL(052)935-8210㈹
マックスサービス㈱大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川１－３－18	TEL(06)6446-0815㈹
マックスサービス㈱広島	〒733-0035	広島市西区南観音７－11－24	TEL(082)291-5670㈹
マックスサービス㈱福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田１－５－１	TEL(092)451-6430㈹

●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料） **0120-228-358**
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。